

第5学年 国語科学習指導案

期 日 平成28年11月2日(水) 5校時
場 所 5年教室
児 童 男子16名 女子9名 計25名
指導者 沢田 幸宏

1 単元名 「すぐれた表現を味わいながら、人物の心情について考えよう」(読むこと)

主な学習材 「大造じいさんとガン」(光村図書5年)

【目指す児童の姿】

- 登場人物の相互関係や情景描写をもとに、登場人物の心情の変化を読み取ることができる。
- 考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。
- 語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもち、日常生活の中で生かすことができる。

【取り入れる主なUDの視点】

- 1-⑦ 学習の形態の工夫
- 3-① 板書の構成の工夫
- 3-⑤ ノートやファイルの工夫

2 単元について

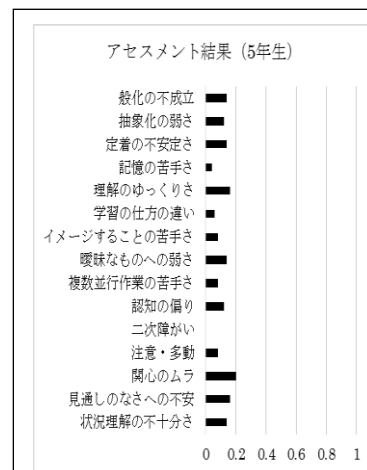
(1) 児童について

本学級の児童は、毎日の学習に一生懸命で、それぞれの活動に真剣に取り組んでいる。しかし、関心にムラがあったり状況理解が不十分だったりすることで、活動が進むにつれ目的からずれてしまうことも多く、目的意識を強くもたせるための手立てが必要となる。また、間違いや友達と考えが異なることを恐れ、発表することに抵抗を感じる児童が多い。これは、見通しのなさから不安を感じたり、理解がゆっくりだったりすることが原因と考えられる。そこで授業では、たとえ間違えても意欲的に話す姿を称賛するとともに、ペアやグループでの話し合いを設定して、自分の考えを安心して話したり自分の考えに自信をもたせたりできるようにしている。さらに、興味・関心がないと極端に意欲や集中力が減少してしまう児童も見られるので、児童がおもしろさを感じ主体的に取り組めるように学習活動を工夫したり、学習の見通しをもたせたりする手立てが必要になる。

児童は、1学期の文学的文章の学習では、登場人物の心情の変化を読み取る学習をしている。しかし、これまでの学習様子のやレディネステストの結果から、登場人物の行動の変化を直接的な表現から考えることはできて、暗示的な表現から登場人物の内面にある深い心情まで読み取ることが難しい児童が見られる。そこで、本単元では、登場人物の相互関係に基づいた行動や会話、情景などを通して、象徴性や暗示性の高い表現や内容、メッセージなどに気付き、それらを評価したり、自分の表現に生かしたりする力を付けたいと考えた。

(2) 学習材について

「大造じいさんとガン」は、狩人の「大造じいさん」とガンの頭領「残雪」との間に繰り広げられる生存のための激しい闘争を通じて、感動すべきものに素直に心を動かしている大造じいさんの人間味あふれる姿が描かれている。残雪のもつ知恵や勇気、統率力のすばらしさに感動をもって対している大造じいさんの人間らしさ、正義感、愛情などを感じることができる作品である。また、場面の転換や物語の山場の部分などに、大造じいさんと残雪の行動を写す細かい描写や大造じいさんの心情を表す表現などが多く見られる。よって、児童が優れた叙述に着目しながら登場人物の相互関係や心情について深く考えるのに適した学習材と言える。本単元では、図書支援員と協力して、象徴性や暗示性の高い表現やメッセージ性のある物語を児童に紹介し、並行読書に取りくませながら、魅力ある表現にたくさん触れさせるようにしたいと考えた。また、その表現を引用して「本の帯」を作り、紹介し合うことで、自分の読みを確かなものにすると同時に、他者の感じ方を受け入れ、自分の考えを広げたり深めたりするようにしたいと考えた。



(3) 指導にあたって

- 登場人物の相互関係や情景描写をもとに、登場人物の心情の変化を読み取ることができるようにするために
 - ・ねらいに合った叙述を効果的に扱うために、一単位時間の中で、一つの視点に絞って作品を読む。
 - ・登場人物の心情の変化を、初め・きっかけ・終わりの三観点で図式化して表す。

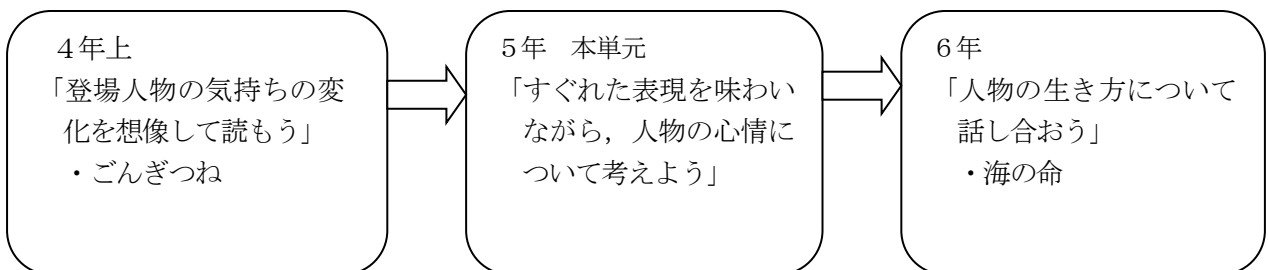
(3-① 板書の構成の工夫, 3-⑤ ノートやファイルの工夫)

- 考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにするために
 - ・読み取ったことを生かして、ペアに自分の考えを説明することで学び合う。(1-⑦ 学習の形態の工夫)
 - ・観点や例を提示し、ペアや全体で学び合いが効果的に行えるようにする。(1-⑦ 学習の形態の工夫)
- 語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心を持ち、日常生活の中で生かすことができるようにするために
 - ・優れた表現や自分の心に残った表現などを、カードとして集積する。(3-⑤ ノートやファイルの工夫)

3 単元の指導目標と評価規準

項目	目標	評価規準
国語への関心・意欲・態度	作品のよさを読み取り、自分なりに主題をとらえようとする。	大造じいさんの心情や情景を表す表現を味わいながら読み、自分なりに主題をとらえようとしている。(音読や読書, 発言)
読む能力	残雪に対する大造じいさんの心情の変化や相互関係を読み取り、作品の主題を考える中で、優れた叙述に対して自分の考えをまとめることができる。 (1) エ	残雪に対する大造じいさんの心情の変化や相互関係を読み取り、優れた叙述に対して自分の考えをまとめている。 (ノートの記述, 本の帯)
	本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。(1) オ	考えたことの共通点や相違点を明らかにしながら友達の発表を聞き、自分の考えを広げたり深めたりしている。 (意見の交流, 振り返りの記述)
言語についての知識・理解・技能	語感や言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。 (1) イ (カ)	豊かな情景描写や色彩語, 擬声語などの表現を読みの手がかりとしている。 (発言, ノートの記述)

4 単元の関連と系統 <文学的文章の解釈, 自分の考えの形成及び交流 読むこと (1) エ・オ>



5 学習指導計画（全8時間）

【指導過程】	【主な学習活動】	【言語活動】	【取り入れるUDの視点】	
<p>第1次 学習課題を設定し、 学習計画を立てる。 (2時間)</p>	<p>① 初発の感想をもち、学習課題を設定し 学習計画を立てる。 ② 設定を読み取り、場面ごとの出来事を 短文でまとめる。</p>	<p>◆ 本の帯をつくる。</p>	<p>1-⑦ 学習の形態の工夫</p>	
<p>第2次 登場人物の心情や 情景描写から、作品 の魅力を考える。 (4時間)</p>	<p>③ 会話文の変化から、中心人物の心情の変 化を読み取り、まとめる。 ④ 情景描写から、中心人物の心情の変 化を読み取り、まとめる。 ⑤ クライマックス場面における中心人物の 行動について考え、中心人物の心情の変 化をまとめる。 ⑥ 中心人物の生き方をふり返りながら作品 の魅力を考え、まとめる。(本時)</p>			<p>3-① 板書の構成の工夫</p>
<p>第3次 作品の魅力を伝え る帯を作り、学習をふ り返る。(2時間)</p>	<p>⑦ 自分が感じた作品の魅力をもとにして、 帯の作り方を確認する。 ⑧ 並行読書で読んだ作品の帯を作り、学習 をふり返る。</p>			<p>3-⑤ ノートやファイルの工夫</p>

6 本時の指導（6/8）

(1) 目標と評価規準

<p>大造じいさんの生き方をふり返りながら作品の魅力を自分なりに考え、友達と交流しながらまとめることができる。 読(1)エ,オ</p>	
<p>具 体 の 評 価 規 準</p>	
<p>A</p>	<p>B</p>
<p>文章を根拠としながら作品の魅力を自分なりに考え、 友達と交流して深めたり広げたりしてまとめることが できたか。 (ノートの記述(まとめ及び振り返り))</p>	<p>文章を根拠としながら作品の魅力を自分なりに考え、 友達と交流してまとめることができたか。 (ノートの記述)</p>

(2) 展開

段階	学習活動	学習内容	指導上の留意点 (○) UD の視点による手だて (★・) 評価
導入 (5)	1 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">大造じいさんの生き方をふり返り，作品のみりよくを考えよう。</div>		○紙板書を使って内容を確認させる。 ★1-4 主体的に取り組める課題設定の工夫 ・作品の魅力を様々な角度から迫れるようにする。
展開 (35)	2 大造じいさんの生き方をふり返る。 3 大造じいさんの言う「堂々と戦う」ことについて考える。 4 作品の魅力を考える。 ○自分の考えをペアで交流する。 ○自分の考えを全体で交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">(例) たとえ相手が鳥でも，残雪の知恵や仲間を思う姿，堂々とした態度を認めて，最後まで正々堂々と戦おうとする大造じいさんの姿が，生き生きと描かれているところが作品のみりよくだと思いました。</div>	○大造じいさんの仕事や人柄 ○大造じいさんの残雪に対する思いの変化 ○作戦 ・ウナギつりばり作戦 ・タニシばらまき作戦 ・ガンおとり作戦 ○大造じいさんのものの見方や考え方 ・知恵比べ ・平等に戦う	○前時までの学習をもとに大造じいさんの生き方をふり返ることで，作品の魅力に気付かせる。 ・残雪の行動に心を動かされた大造じいさんの人間味ある姿 ★1-5 思考の手がかりをもたせるための工夫 ・大造じいさんの行動に関する叙述から考えさせる。 ・「ひきょうなやり方」について考えさせる。 ・大造じいさんのものの見方や考え方について気付かせる。 ★1-7 ねらいに応じた様々な学習形態の工夫 <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"><評価> 文章を根拠としながら作品の魅力を自分なりに考え，友達と交流してまとめることができたか。(ノートの記述)</div> ○考えが同じ場合は言葉の吟味を，違う場合は根拠となる言葉を確認させる。
終末 (5)	5 本時の学習をふり返り，次時の学習の見通しをもつ。	○ふり返り ・今日の学習で分かったこと ・友達の発表を聞いて思ったこと ○次時の見通し	★1-⑨ 満足感・達成感を実感できる活動にするための工夫 ・本時の学習で分かったことを意識させ満足感をもたせるとともに，友達の発表を聞くことでさらに自分の考えが広がったことに気付かせ，次の活動への意欲化を図る。

(3) 板書計画

大造じいさんとガン

椋 鳩十

大造じいさんの生き方をふり返り、作品のみりよくを考えよう。

仕事

かりゆうど
えものをかる仕事

思い

初め
いまましい
「うむ。」
「うん。」

残雪の姿

終わり
英雄、えらぶつ

じゆうを下ろす

「また、堂々と戦おうではないか。」

堂々と戦う

・知恵比べ
・平等に戦う

ひきょうなやり方

・相手が弱っている時に撃つ
・仲間を助けようとしている時に撃つ

・工夫・努力をすること
・相手を認めていること
・正々堂々と戦おうとすること

ペア交流のポイント
相手と

同じ考え → 別な言葉で表現
してみる。

違う考え → 根拠となる叙述
を伝えてみる。